

教育委員会後援事業等に関する報告

R5.12.10からR6.1.9受付分まで
※区分の★は新規に申請があったもの

No.	日時	事業名	主催者名	場所	区分	担当課
1	令和5年12月17日(日) 9:30～15:00	職業体験型講習会「tazzania(タツザニア)」	田主丸町商工会青年部	田主丸小学校体育館 ほか	後援★	教育部 田主丸事務所
2	令和6年1月20日(土) 14:00～16:00	子ども子育て講演会「ヤングケアラーの理解を深めよう」～子ども・若者のライフチャンスを広げるために～	久留米市	久留米シティプラザ5階 大会議室	後援	学校教育課
3	令和6年1月5日(金)～7日(日) 10:00～16:00	2023年度「第25回久留米ユネスコ協会子ども絵画展」	久留米ユネスコ協会	久留米市庁舎2Fホワイエ	後援	学校教育課
4	令和6年2月18日(日) 10:00～12:30	第40回久留米市少年健全育成駅伝大会	久留米市青少年育成市民会議	久留米総合スポーツセンター陸上競技場	共催	学校教育課
5	令和6年3月2日(土)～4月7日(日)	特別展Ⅱ(春)恐竜ランド～恐竜たちと遊ぶバーチャルの世界～	福岡県青少年科学館	福岡県青少年科学館 1階特別展示室	後援	学校教育課
6	令和6年1月26日(金) 14:00～16:30	筑同研課題別研 人権・部落問題学習part-2	筑後地区人権・同和教育研究協議会	宮ノ陣クリーンセンター 環境交流プラザ 大会議室	後援★	学校教育課
7	令和6年1月27日(土) 13:00～16:30	第46回久留米市人権・同和教育研究集会、第18回久留米市社会・人権同和教育研究集会	久留米市人権・同和教育研究協議会	石橋文化ホール 石橋文化会館 共同ホール 教育会館	後援	学校教育課
8	令和6年1月7日(日)、8日(月)、13日(土)、14日(日)、20日(土)、21日(日)、28日(日)、2月3日(土)、4日(日)、10日(土)、11日(日)、12日(月)、17日(土)、18日(日)、24日(土)、25日(日) 10:00～16:00	ハレルーヤ自由研究	NPO法人くるぶら	久留米大学御井学舎、御原コミュニティセンター、御井コミュニティセンター、鳥栖市若葉まちづくり推進センター、善導寺コミュニティセンター、大原コミュニティセンター	後援	生涯学習推進課
9	令和6年3月23日(土) 9:30～13:00	「あそびのレンズ」自主上映会	ゆるっぽ	久留米シティプラザ(久留米座)	後援★	生涯学習推進課
10	令和6年3月23日(土)～3月24日(日)	TJCよのなかキャンプ	TJC教育サポート	リーダーハウス(久留米市山本町)	後援	生涯学習推進課
11	令和6年5月19日(日) 13:00	第35回ぐるめ新人演奏会	公益財団法人久留米文化振興会	石橋文化ホール	後援	生涯学習推進課

No.	日時	事業名	主催者名	場所	区分	担当課
12	①令和6年2月14日(水) 10:00～11:30 ②令和6年2月15日(木) 18:30～20:30 ③令和6年2月17日(土) 14:00～16:00 ④令和6年2月21日(水) 10:00～15:00 ⑤令和6年2月22日(木) 18:30～20:30 ⑥令和6年2月24日(土) 14:00～16:00	講座&ワークショップ「7か国語で話そう。」	ヒッポファミリークラブ西日本	①～⑤久留米シティプラザ ⑥ 久留米毎日文化会館	後援	生涯学習推進課
13	令和6年 2月24日(土)、25日(日) 10:30～15:00	こども人形劇がっこう	特定非営利活動法人舞台アート工房・劇列車	石橋文化センター 共同ホール 1階研修室	後援	生涯学習推進課
14	令和6年2月18日(日) 受付13:30 講演14:00～15:30	第48回教育講演会「あのね・・・」	福岡県教職員組合久留米支部	久留米市石橋文化センター共同ホール	後援	生涯学習推進課
15	2024年1月20日(土) 13:30～15:30	第3回 大人と子どものたべもの講座	コップルーム～寄り添いホッとチャイルドライン安心安全な居場所～	十三部公民館	後援★	生涯学習推進課
16	令和6年2月25日(日) 8:30～18:00	第11回三猪旗争奪剣道大会	三猪地域剣道連盟	みづま総合体育館	後援	体育スポーツ課
17	令和6年2月12日(日) 9:00～21:00	第48回日本ハンドボールリーグ久留米大会	久留米市ハンドボール協会	久留米アリーナ	後援★	体育スポーツ課
18						
19						
20						
21						

令和6年度久留米市立小・中・高・特別支援学校の入学式について

令和6年度の久留米市立小・中・高・特別支援学校の入学式の期日は、下記のとおりです。

記

年	月日	曜日	学校名等
令和6年	4月9日	火	南筑高等学校 久留米商業高等学校
	4月10日	水	中学校
	4月11日	木	小学校
	4月12日	金	久留米特別支援学校 (小学部・中学部・高等部)

(参考)

令和5年度卒業式

年	月日	曜日	学校名等
令和6年	3月1日	金	南筑高等学校 三井中央高等学校
	3月3日	日	久留米商業高等学校
	3月4日	月	久留米特別支援学校 (高等部)
	3月8日	金	中学校
	3月12日	火	久留米特別支援学校 (小学部・中学部)
	3月14日	木	小学校

中学校部活動の地域移行の検討状況について

1 久留米市における方向性

(1) 地域移行の検討

久留米市では、国が進める中学校部活動（休日分）の地域移行を検討するため、有識者・競技団体関係者・学校関係者・保護者等で構成する「久留米市立中学校部活動地域移行検討協議会」を設置し、検討を進めています。

(2) 段階的な移行

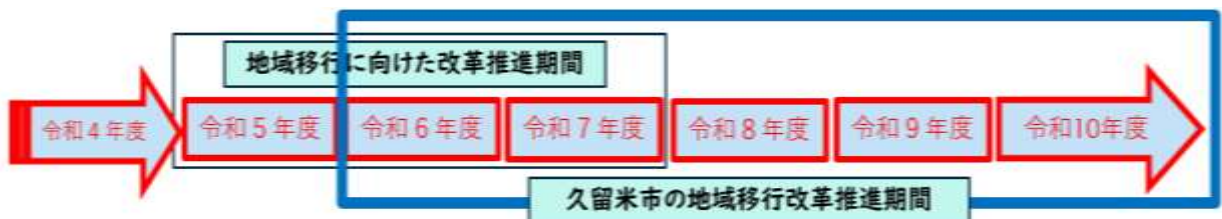
市立中学校17校では、全体で運動部14種目、のべ244部（生徒4828人）、文化部8種目、のべ47部（生徒1140人）に上る多くの部活動が活動しています。（令和5年5月1日現在）

今後、関係者の理解や協力を得ながら進めていくため、まずは「モデル部活動で隣接する複数の中学校が休日に合同で部活動」を行い、最終的には「休日の地域クラブ活動」への段階的な移行を目指します。



(3) 地域移行までの想定期間

生徒・保護者・教職員・地域等への説明を丁寧に行いながら進める必要があるため、現時点において、令和6年度から10年度末までの5年間を想定しています。



2 モデル部活動の選定

令和6年度からのモデル部活動は、地域移行の目的である「生徒の持続可能な活動機会の創出」「教員の負担軽減」の観点から、検討協議会において「サッカー」と「ソフトボール」の2種目が候補となっています。

今後、この2種目を基本として「隣接する複数の中学校が合同で休日に活動する部活動の連携」を実施し、課題等を検証していきながら、対象種目を広げていく予定です。

3 部活動に対するアンケート調査

部活動の地域移行を円滑に推進するため、令和6年1月に実施した生徒・保護者・教員を対象とする「現状の部活動に対するアンケート調査」の結果をもとに、その方策等を検討していきます。

【久留米工業高等専門学校連携事業】 令和5年度「小中学生プログラミング教室」実施報告

1. 内容・目的

ICTに関する高い知見を有し、かつ久留米市の子どもたちにとって身近な学校である久留米高専の学生からプログラミングを教わることにより、プログラミング等をより親しみながら学んでもらうもの。ロボットを動かすプログラミング体験を通して、子どもたちのプログラミング的思考を高めることがねらい。

2. 対象

久留米市立小学校の小学4年生から中学2年生 / 定員:120名(30名×4枠)
(今年度より中学生枠を増員)

3. 会場

久留米市教育センター 大研修室・研修室

4. 日程及び内容

令和5年12月27日(水)・28日(木)の午前・午後(計4枠)

参加した久留米高等専門学校の教員:1名、生徒:11名(内4名:ロボコン部の学生)

「小学生プログラミング教室」の内容
○久留米高専製作ロボットのデモンストレーション →本年度「高専専門学校ロボットコンテスト」に出場した果物を収穫するロボットの実演
○プログラミング体験 →プログラミングについて学ぶ →黒い線の上を走るロボットカー(Smart Cutebot)のプログラムを組む →トライ&エラーによるプログラムの修正

5. 子どもの様子と感想



学生たちに教わりながらプログラミング



プログラムを組み直してタイムを競い合う

《参加した子どもの感想より》

プログラミングは、初めてだったので、最初はわからなかったけど、やり方も少しずつできるようになったので、楽しかったです。(小学5年生)

すごく楽しかったです!教える側もやってみたいです!Scratchでゲームを作るきょうしつとかもやってほしいです!そしたら僕はある程度教えられるので呼んでください!(小学6年生)

すごくいい経験になったと思います。自分は来年受験で、久留米高専を目指しています。今日を通して、前よりもっと高専を目指せる気持ちになりました。(中学2年生)

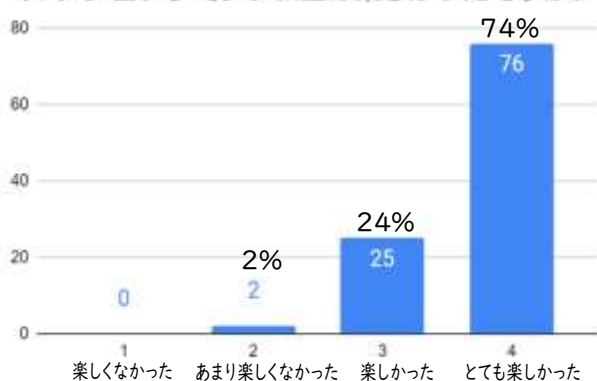
【参考資料】

1. 参加人数（応募人数：190名）

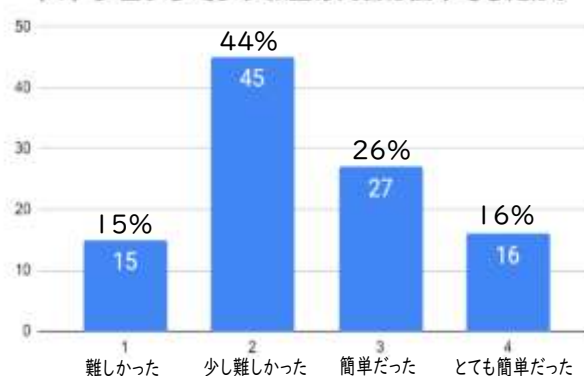
日時	参加人数(74名)					
	小4	小5	小6	中1	中2	計
12月27日(水) 午前	6名	8名	8名	2名	3名	27名
12月27日(水) 午後	6名	15名	3名	3名	4名	31名
12月28日(水) 午前	11名	4名	6名	4名	2名	27名
12月28日(水) 午後	14名	8名	2名	6名	1名	31名
合計	37名	35名	19名	15名	10名	116名

2. アンケート回答結果より（n=103）

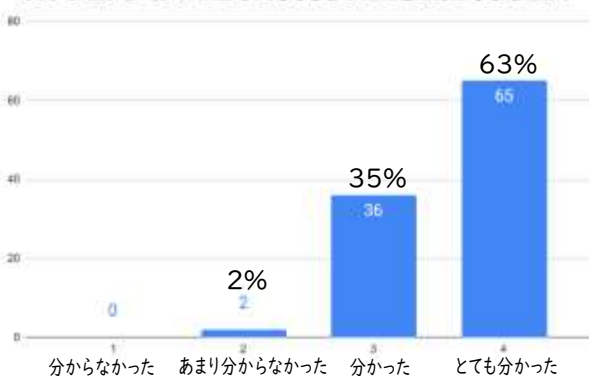
(3) プログラミング教室は楽しかったですか。



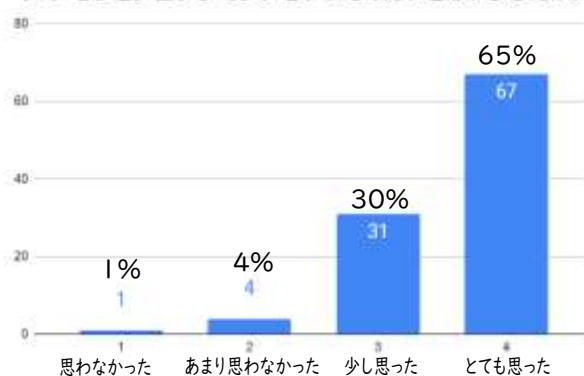
(4) プログラミング教室の内容は簡単でしたか。



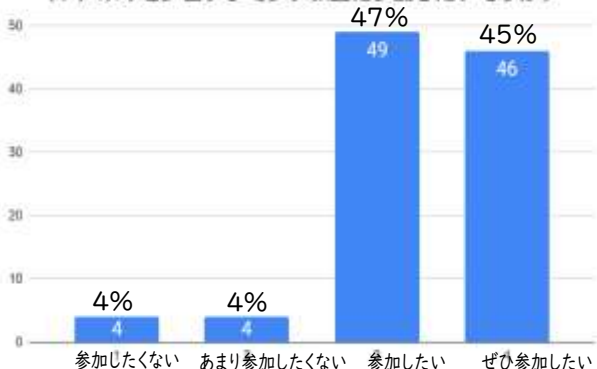
(5) プログラミング教室で教えてもらったことは分かりましたか。



(6) もっとプログラミングをやりたいと思いましたか。



(7) 来年もプログラミング教室に参加したいですか。



約60%の子どもがプログラミングを「難しい」と感じつつも、95%以上の子どもが「楽しかった」「理解できた」「もっとやってみよう」と回答。



とても充実した内容だったことが分かる

次年度：中学生の参加拡大に向け、時期やプログラミング教室の内容を吟味

令和5年度「くるめっ子ジュニア ICT リーダープログラム」実施報告

1. プログラム開催の背景

令和4年度より、Google のパートナー自治体として、Google 社の協力のもと、ジュニア ICT リーダープログラムを開催している。全国にも取り組みが広がり、本年度は16自治体が参加。

2. 目的

ICT 活用推進に向け、学校の友達や先生をサポートできるリーダーの育成を図ることがねらい。令和5年度は、各校の特色ある「学校ホームページ」を作成することを通して、情報活用能力の育成や学校内で他学年と協働する力、表現力、コミュニケーション能力の育成を図る。

2. 対象・参加人数

久留米市立学校の小学5年生、中学2年生（参加希望者）

・小学5年生：53名（19校／44校）

・中学2年生：8名（6校／17校）

3. 会場

久留米市教育センター 大研修室 ・ 久留米市立北野小学校（第2・3回土曜日開催のみ）

4. 日程及び内容

《年3回開催：7月、8月、12月》

日程	内容
7月2日（日）	・ショートカットキーを使いこなそう ・スライドづくり、インターネット検索、プレゼンテーションのコツを知ろう ・1分間で自己紹介をしよう
8月26日（土） 27日（日）	・いいWeb サイトを知ろう ・学校を紹介するホームページの設計図を作成しよう ・学校紹介ホームページ「Google サイト」を作成しよう
12月9日（土） 10日（日）	・学校紹介ホームページ「Google サイト」の作成・修正をしよう ・「わたしの学校」の魅力を紹介しよう

5. 子どもの感想（一部抜粋）

・学校で友達からも先生からも「すごいね」と言われました!! とてもいい経験になり楽しかったです。実際にやって楽しみながらできたので、すぐ覚えられました。今では、サイトの公開が、待ちきれないほど楽しみです! 今まで習ったことを、クラスみんなに伝えていきたいです!! (小学5年生)

・ICTをもっと活用していきたいなと思います。学校では、Chromebook を使用する機会が増えました。これからの時代、インターネットがより普及していくと思うので、メリットとデメリットをよく確認しながら使用していきたいです。(中学2年生)

・この1年間で、様々なアプリを活用できるようになりました。見る人のことを考えて作ることが大切であり、自分のことだけ考えているだけでは良いものを作ることができない事がわかりました。文化祭の発表は、緊張しましたが、より良いプレゼンテーションを教えてくださいましたので、堂々と発表できました。高校は、IT系の高校に行きたいと思います。本当に参加してよかったです。(中学2年生)

【参考資料】

1. 活動時の子どもの様子

第1回（7月2日開催）



参加者のニーズに応じてオンラインでのハイブリッド開催

第2回（8月26日・27日開催）



Google の講師に聞きながら協働作業する子どもの様子

第3回（12月9日・10日開催）



Google サイトを用いて学校紹介をする様子

小学5年生～発表動画～



中学2年生～発表動画～



小学生～学校サイト例～



中学生～学校サイト例～



2. くるめっ子ジュニア ICT リーダーの全国への発信

EDIX 関西の登壇（大阪：6月16日）

全国ジュニア ICT リーダーサミット（東京：12月27日）



昨年度のジュニア ICT リーダーによる久留米市の魅力発表を行う。来場者の大人に向け、学校で活用している実践例なども紹介する。



全国で活動するジュニア ICT リーダーが Google 社に集い、「わたしたちのまち」発表を行う。他自治体の子どもたちと、名刺交換や謎解き対決を行い、交流を深める。

教職員アイデア提案の審査結果について

久留米市教育振興プランでは、ともに未来を創る「くるめっ子」の育成を目標に掲げており、その一環として本市における教育振興や学校における課題解決に向けたアイデアを教職員に募集しておりました。

このたび、市教育委員会において厳正な審査のうえ、次のとおり入賞者を選定しました。

1 募集期間

令和5年6月8日から9月29日まで

2 応募件数 27件

3 選考結果

区分	所属・氏名	タイトル・提案内容	選考理由
優秀提案賞	南薫小学校 校長 多々野智子	【学力の保障・向上プロジェクトチーム構想】 校長会主催でメンバーを募集し、3年計画で授業改善の検証と学びのパッケージを作成し提供する。	成果物は次期教育振興プランの参考になる。
	篠山小学校 教頭 平島 雅之	【小学校版校内支援教室を核とした不登校対応】 不登校対応5段階※について教職員で共通理解し、不安傾向にある児童に安定登校への支援を行う。	早期支援と登校しやすい環境整備につながる。
提案賞	柴刈小学校 校長 坂田 子穂	【保護者対応に役立つビジネスマナー】 保護者の心情を理解し、クレーム防止にもつながるコミュニケーションの手法を学ぶ場を設ける。	初任研等に保護者との信頼関係構築を設ける。
	高良内小学校 校長 武下 秀華	【学校版環境ISOの推進】 光熱費や水道代の節約など児童と教職員が協働で環境改善を行うと表彰され、副賞がもらえる。	気軽にでき、SDGsに取り組む契機になる。
	南筑高校 教諭 伊佐英二郎	【高校生を町に返そう！】 高校生の活力で実社会の課題を解決し、久留米市を活性化させるプロジェクト型学習をつくる。	「本物」の探究は未来社会の創り手につながる。

※①朝方リズムに、②1日1回学校に顔出し、③別室でオンライン授業、④教科を選択して教室で学習、⑤全て教室で

4 表彰式

2月27日16時から教育長室にて表彰式を実施します。

